

大桑 第21号 無所属 まさたか



サラリーマンから^{しせい}市政にチャレンジ！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！

栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員2年目
よろしくお願ひします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑**まさたか**の政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくりまします(しがらみをなくす)。

省エネ！

現在、横浜市(市役所・区役所)では、夏らしいライフスタイルを提案し実践しています。期間は6月21日(夏至)～9月23日(秋分)です。

その内容ですが「冷房の温度を28℃に設定・軽装での業務・不要な照明の消灯」などです。もちろん、これはあくまでも目標です。ですから、例えば、温度設定などについては、自分の体調を悪くしてまで実践する必要はないと思います。

しかし、この夏の記録的な猛暑や集中豪雨(世界的な異常気象)などを見ると地球規模で「何か」がおかしくなっているのではと感じるのは、私だけでしょうか？

是非、自分には関係ないなどと言わず、自分にできる「何か」を始めて下さい！

それが、今、この時代を生きている私たちの責任だと思ひます。

私は子供たちに胸を張って、この横浜を、日本を、世界を手渡したいと思ひています！

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第21号

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL & FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www5a.biglobe.ne.jp/m-okuwa/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

2003年4月 横浜市議員 初当選

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻(飼ひ猫のママは実家でのんびり暮らしています)

ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒にあって、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布してあります。

6月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成16年度6月現在の政務調査費累計残高は **- 297,654円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	17,010円	新聞代	16,900円
大桑新聞印刷代	63,780円	文具費等	40,395円
勉強会代	88,489円	書籍代	850円
通信費	30,132円	事務所費等	100,661円
交通費	57,600円	道路使用料(6、7月分)	8,000円

6月の**支出合計**は

423,817円です。

近況報告

最近、本当に暑い日が続いています。体調には十分気をつけて下さい!!!
また、私は相変わらず、駅前で大桑新聞を配っております。
暑い中、朝から申し訳ありませんが、お許し頂ければと思いますm(__ __)m
話は変わりますが、7月27日～7月29日に行政視察で宮城県と秋田市に行ってきました。視察については、その必要性を含め、賛否さまざまな意見があると認識しています。しかし、**今の私**にとって視察は非常に有意義なモノだと思っています。現地での視察もさることながら、移動の時間も含め議員同士、または市役所の職員と時間を気にせず横浜市のことについて話が出来からです。ちなみに、すべての飲食代は自腹です。

Q&A

昼休みも対応!

栄区役所では、平成16年7月5日から**すべての課**において、**昼休みの時間帯**(12時～13時)も業務を行っています(H16年度中に全区で実施予定)。これまで、戸籍課・課税課・納税課・保険年金課の4課では昼休み時も窓口業務を行ってきましたが、今回、**全課**での対応が可能となりました。しかし、他の機関(他都市の役所など)が昼休みを取っている場合には、対応できない業務もありますので、ご理解いただければと思います!!!

38億3,000万円

上の数字は、横浜市の平成15年度の一般会計決算(速報値)で分かった**黒字額**(決算余剰金)です。この額は過去10年間で**2番目**に大きい額になります。ちなみに、この額は、前年度に比べ**約30億円の増**です。また**市債残高も2年連続で減少**しており(国から地方税として全額交付される市債は除く)、横浜市の財政が良くなってきていることを示しています。上記のように、市債残高が減少したということで早くも「市債をもっと積極的に活用してはどうか」という声の一部の議員からあがっていますが、私は、今後も財政の健全化のために市債の発行抑制を進めていかなければならないと思っています。少子高齢化が進む日本の人口は、2010年がピークだと言われています。また劇的な景気回復も望めないこの時代に、市債の発行抑制を進めなければ将来この市債(借金)を返せなくなるのは目に見えています。だからこそ、財政の健全化にメドがつくまでは、横浜市(日本)の**市債を減らす努力を続けるべき**だと思います!

ポスティング!

誠に勝手ながら、大桑新聞を配っていただける方(ボランティア)を、今後も募集したいと思っています。ご連絡をお待ちしておりますm(__ __)m

大桑新聞

大桑新聞ではみなさまとともに、栄区について考えていきたいと思っています。

FAX: 045-892-5187